

令和4年（2022年）2月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（1日目）

令和4年2月17日（木）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	前田 千尋 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 給付型奨学金制度について 2 就学援助制度について 3 ジェンダー平等について 4 特別支援教育について 5 児童通所支援について	経済的な理由で進学を諦めないためにも本市独自の給付型奨学金制度の役割は重要である。取組と予算執行を伺う コロナ禍による経済的困難が、国民の中でますます広がっている。経済的な理由に関係なく、すべての子供たちが安心して学ぶために、就学援助制度の役割は重要である 本市の5年間（2017年～2021年度）の取組を問う ジェンダーレス制服を市内全中学校で実現することは、すべての子どもの人権を守ることである。制服選択制・ジェンダーレス制服の目的と取組を問う (1) 市内小中学校の特別支援学級の現状について問う (2) 特別支援教育補助員の配置目的と意義を問う 児童発達支援等の児童通所支援の概要と取組を問う

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>6 市営住宅について</p> <p>7 空家対策について</p> <p>8 中心商店街の活性化について</p>	<p>樋川市営住宅の駐車場と駐輪場の整備状況を問う</p> <p>那覇市空家等対策の取組を問う（相談件数、改善件数・改善率）</p> <p>(1) 公設市場衣料部・雑貨部廃止についての対応を問う</p> <p>(2) 衣料部・雑貨部廃止前の建物内にあるゆっくと公衆トイレ、商人塾の役割を引き続き残すべきである。概要と役割について問う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和4年2月17日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	<p>中村 圭介 (無所属の会)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 まちぐわーの治安について</p> <p>2 中心市街地のまちづくりについて</p> <p>3 教育行政について</p>	<p>那覇市平和通り商店街振興組合から環境改善についての陳情が提出されている。関連して以下を問う</p> <p>(1) まちぐわーのまちづくりルール作成についての本市の関わり</p> <p>(2) 騒音に関する対応と、他市の情報収集の進捗について</p> <p>(3) カラオケ店等の防音設備についての規定はあるのか</p> <p>(4) 壺屋小や神原中などの通学路の安全確保のため、各学校は校区まちづくり協議会やPTA等とどう連携をしているか</p> <p>(1) 中心市街地の活性化に関する基本計画の見直しの内容を問う</p> <p>(2) 同計画の88頁、市街地の整備改善の文章に「今後は、これらマチグワーの良さを活かしながら、防災上・防犯上の課題解決を図り、安全・安心・快適な都市基盤の整備を図っていくことが重要である。」とある。防犯面に関しても具体的な取組を明記すべきではないか</p> <p>(3) まちなか居住の推進には治安の安定は欠かせないのではないか。対策を問う</p> <p>(1) 小中学校ホームページは、情報発信と活用がますます重要になる時代に合わせて適宜整理され、見直されるべきである。更新の計画を問う</p> <p>(2) 各種申請や支払いのインターネット申請の導入について現状と今後の予定を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和4年2月17日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>比嘉啓登 (自民党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 情報通信産業振興策について</p> <p>2 通学路整備について</p> <p>3 公園整備について</p> <p>4 子育て・保育について</p> <p>5 中心市街地再整備について</p>	<p>施政方針でも次年度「情報通信産業振興に係る基本方針」を定めることが明言された。策定に当たってのこれまでの振り返りと抽出された課題、及び基本方針による期待される効果を問う</p> <p>通学路整備に際して、市民からの要望に対して市が十分に応えられていない現状が議会でも繰り返し問題提起されている。過去の道路整備に係る事業予算額の推移の概要と国庫補助率、次年度以降の整備方針を問う</p> <p>子育てや心身の健康福祉の充実化の側面からみても、公園整備の充実化が急がれる 過去の公園整備に係る事業予算額の推移の概要と国庫補助率、次年度以降の整備方針を問う</p> <p>(1) 保育士不足解消に向け、中央政府では保育士に対する処遇改善の対策が講じられているが、一方で保育士人材の潜在的有資格者への働きかけも重要となる。那覇市の潜在的有資格者数、有資格者ニーズ実態調査の状況、現状を踏まえた対策状況を問う</p> <p>(2) 公立から遅れている私立の保育園・幼稚園・こども園への保育ICT導入スケジュールを問う</p> <p>公設市場やアーケード整備など、市民からも那覇市中心市街地再整備の期待が高まっている。市街地再整備に当たって必須となる最新の市民商店街利用調査の状況と、過去10年間での那覇市域内での観光客の一人当たり消費額、利用動線の変遷調査の状況を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和4年2月17日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	平良 識子 (ニライ) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 口腔保健支援センターの設置について 2 都市計画道路真和志線の整備について 3 アーケード再整備支援について 4 ごみ収集委託事業者の委託料について	設置の意義、取組計画、体制について伺う 現在の進捗状況、今後のスケジュールについて伺う 那覇市第一牧志公設市場に隣接する市場中央通り第一アーケードの再整備について、進捗状況、課題について伺う 新年度予算におけるごみ収集委託事業者への委託料について、どのように予算算定を行ったのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（1日目） 令和4年2月17日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	<p>我如古 一郎 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 戦争遺跡について</p> <p>2 超高齢社会への対応について</p>	<p>戦争遺跡の保存・活用について、新聞報道で、改めて注目されているが、この件は戦後この方、長年にわたり、指摘され続けてきた重要な課題である</p> <p>(1) 今年は、戦後 77 年、復帰 50 年の節目である。戦争体験者が少なくなる中で、戦火の記憶を、後世に伝えるために、戦争遺跡の文化財指定と保存が急がれる。その意義と取組の現状について問う</p> <p>(2) 早急に保存・修復をしなければ、戦争遺跡が崩壊する危機的な状況にある。対応を問う</p> <p>(3) 小中学校で平和教育・歴史学習に活用することが重要である。教育委員会の取組と見解を問う</p> <p>超高齢社会がさらに、進行している。国立社会保障・人口問題研究所が 2018 年に発表した資料によると、沖縄県の 75 歳以上の人口将来推計は、2020 年を起点として、2030 年には 1.36 倍、2035 年には 1.49 倍と全国の増加率を大きく上回っている。これは、国保の前期高齢者交付金問題で、2009 年当時、65 歳から 75 歳の人口が、沖縄戦の影響で、全国平均より圧倒的に少なく、理不尽に交付金が減らされたという事実と連動している。問題は解決されないまま、12 年が経つが、全国平均より少なかった前期高齢者は、平均に戻りつつある中で、沖縄県だけの新たな問題が高齢者の急激な増加にあると思われる</p> <p>(1) 現在から 8 年後の 2030 年と、13 年後の 2035 年の 75 歳以上の人口は、那覇市の現状に当てはめると、何名に相当するのか</p> <p>(2) 75 歳以上の高齢者が、1.36 倍に増えると、高齢者の医療や介護の需要が今以上に逼迫することが明らかである。現在の 65 歳から 75 歳の介護度 3 以上の認定率と人数、75 歳以上の介護度 3 以上の全国との比較と見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 公営葬祭場行政について</p> <p>4 市民との協働について</p>	<p>超高齢社会に伴う、もう一つの、重要な課題が、高齢者の死亡者の増加である。現在でも、亡くなってから、火葬されるまで4日から5日待ちの状況が出ている。遺族の精神的負担が気の毒である</p> <p>(1) 今後も火葬場「いなんせ斎苑」の需要が増えると考えるが、10年前と5年前、昨年度と今年度の取扱数の推移と、今後の予測を問う</p> <p>(2) 現在の施設で、解決できないのであれば、今から施設改築計画を前倒して検討するなどの対策をするべきではないか</p> <p>(1) 自治会の加入率は低下をしているが、その果たしている役割は大きい。評価を問う</p> <p>(2) 自治会の公民館建て替えの期間、自治会事務所がアパートなどに仮移転する場合、1年ほどの家賃補助をすべきではないか</p> <p>(3) 建て替えする公民館へ、那覇市は自治会の役割に見合う独自の補助もすべきと思うが見解を問う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和4年2月17日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	金城 亮太 (公明党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 公園行政について 2 住宅行政について 3 保育行政について 4 交通行政について 5 保安灯・防犯カメラ設置事業について 6 文化行政について	令和4年度の公園整備計画の概要について (1) 石嶺市営住宅における火災報知器の誤報が頻発している。原因と対策を問う (2) 建て替えた市営住宅のLED灯の導入状況と取替えが生じた際の対応を問う 兄弟で別々の保育園に通っているケースがある。本市における実態と理由について見解を問う 渋滞対策を必要とする交差点とその原因について問う (1) 事業目的について (2) 本市と隣接する浦添市前田に市民がモノレール経塚駅を利用する際の歩行通路として利用頻度の高い里道がある。当該道路への保安灯の設置について見解を問う 文化芸術の担い手を雇用する市内事業者に対する助成金制度の新設を提案する。琉球古典芸能では県内外でのイベントや公演に参加するために1日～1週間程度休暇を取得することがある。特に働く若い世代の活躍・定着と、事業者の支援を促す効果があると考え。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（1日目） 令和4年2月17日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	金城直子 (自民党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 交通行政について 2 保育行政について 3 児童虐待防止について 4 子育て支援について	本市におけるシェアサイクル事業の取組について伺う (1) 那覇市内勤務の保育士へは居住地の区別なく、市内在住の方と同じように3回目ワクチンの優先接種ができる体制を整えるべきだと考えるが、本市の見解を伺う (2) 令和4年4月の新規申込み児童の状況について伺う (3) 待機児童ゼロへ向けて本市の今後の取組について伺う (4) コロナ禍における一般型の一時預かり事業の現状と今後の取組について伺う (5) 感染症予防、保護者のお昼寝マット持ち帰り負担軽減、保育士の業務負担軽減を図るためにも公立こども全園でお昼寝をする園児にお昼寝ベッド「コット」の導入はできないか伺う (1) 児童生徒自身が不安や悩みを直接相談できるオンライン相談の活用状況を伺う (2) 「那覇市子ども虐待対応マニュアル」の活用について伺う (1) 保育所等の施設に預けずに家庭で育児をしている場合、本市において、どのような子育て支援が受けられるか伺う (2) ファミリーサポート事業の近年の利用状況と課題を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長

一般質問（1日目） 令和4年2月17日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	<p>吉里明 (公明党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 令和4年度 新規事業について</p> <p>2 防災・危機 管理行政について</p> <p>3 道路行政について</p>	<p>(1) 「早朝・夜間の活動時間創出事業」の内容について伺う</p> <p>(2) 「AI・RPAを活用した業務の自動化推進事業」の内容について伺う</p> <p>(1) 1月16日午前0時15分の津波注意報発表に関する本市の対応について伺う</p> <p>(2) 要配慮者、避難行動要支援者への対応について伺う</p> <p>(3) 指定避難所となる小中学校体育館の防災・教育面からの空調設備設置について伺う</p> <p>(1) 那覇市道における水道工事などの占用工事後の復旧対応について伺う</p> <p>(2) 三原中央線の占用工事後の復旧状況について伺う</p> <p>(3) 与儀国場北線にある「国場 1193-1」前の交差点の安全対策について伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、上下水道事業管理者、関係部長</p>